

令和6年度 焼津市自治基本条例

まちづくり市民集会・大ワールドカフェの報告

令和7年1月18日(土)開催

焼津市自治基本条例 まちづくり市民集会実行委員会

実行委員会からの報告 ～条例制定 10 周年 まちづくり市民集会～

令和7年1月18日(土) 焼津文化会館小ホールにて「まちづくり市民集会」を開催しました。

一般参加の市民、学生の方をはじめ、自治会関係の方、市長、市議会議員、市職員等、10代から80代の多様な世代・立場から140名の方々にご参加いただきました。今回は、焼津市自治基本条例制定から10年となる記念の回でもありました。また、昨年度に引き続き市内の事業者様にご協力をいただき、ウェルカムドリンク方式で開催をすることができ、改めてこれまでまちづくり市民集会に関わっていただいた全ての皆様にお礼を申し上げます。

実行委員会では、市民集会の成果を今後のまちづくりに生かしていけるよう振り返りの話し合いを行い、市民・議会・行政の皆さんと共有するため、本報告にまとめました。

●テーマ「創造しよう 夢のある焼津市～対話から始まるこれからの10年～」

第1回の市民集会(平成27年3月)は「焼津市の未来・わたしたちの暮らしと自治基本条例」をテーマに開催しました。その時の話し合いで、まちづくりには「人とのつながり」や「お互いを知ることが大切だ」ということを再認識し、第2回は「『縁』とつながりで育む「住み続けたい焼津」」をテーマとしました。回を重ねるごとに、まちづくりに対する想いやアイデアなどが参加者の皆さんからたくさん出てくるようになりました。テーマを決める際は、「人とのつながり」を意識しつつ、その時期に焼津で一番ホットなテーマを設定しています。

今回のテーマの決定にあたっては、自治基本条例の制定から10年ということを念頭に、これまでの歩みを振り返りつつ、夢を自由に明るく語ってもらうことで、市民集会が大切にしてきた「対話」や「つながり」が焼津市をより住み良いまちにしていけることを願いこのテーマを設定しました。



和やかな雰囲気、笑顔がたくさん見られました

●パネルディスカッションをグループワークのヒントに

今回のテーマについて、自分事としてより深く、具体的に考えるために、グループワークの前にパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは、事業者、市民活動団体等の市内で活躍する4名の方たちが登壇し、それぞれの立場から活動の内容や未来の展望について語っていただきました。



●グループワークでは

21のグループからたくさんの素晴らしい提案がありました。それらの提案を「夢のある焼津市」としてまとめました。

商店街のにぎわいづくりや防災に関する提案など多様な提案がありましたが、どの夢も共通して「地域のボランティアや行事に参加する」、「近所付き合いを大切にする」、「あいさつをする」など、人と人とのつながりを育むことが夢のある焼津市を実現するために重要であるとの意見が多く出ました。

(4ページに提案のまとめ、5ページ以降に全グループの「発表内容シート」をまとめました)



年齢や立場に関係なく熱く楽しく語り合いました どのテーブルも話し合いが盛り上がりっていました



テーブルごと模造紙に
たくさんの意見が
書き込まれました

●学生の活躍

今回も高校生・大学生が参加してくれました。学生たちはみんなしっかりと自分の意見を持ち、積極的に声に出して想いを伝え、同じテーブルの大人たちは大いに刺激を受けていました。

また、学生たち自身も、「自分から声を上げていくことの大切さを学ぶことができた」など、多くの気づきが生まれた場となっていました。



最後は多くの学生が発表者として立ち、堂々としたスピーチに会場は大いに盛り上がりました

●新しいものが生まれる場に

10代から80代の様々な世代・立場の参加者が同じテーブルにつき、それぞれの夢や想いを伝え合いました。みなさんたいへん積極的で、これまでの市民集会の積み重ねの成果だと感じました。

まちづくり市民集会は、いろいろな意見を聴き、話すことで参加者に“気づき”や“交流”が生まれることを目的にしています。

「明るい気持ちになれた」「自分事として焼津を考えるきっかけとなった」「自分も何かできるかも!と思った」「焼津市の良さ(魅力)を再確認できました」など、数多くの前向きな感想がありました。

今後も“気づき”と“交流”が生まれる場づくりを工夫して作っていきたいと思います。

●今後も「まちづくり市民集会」へのさらなるご参加・ご支援をお願いします。

アドバイザーの松下啓一氏は、この市民集会自体が全国的にも稀少な焼津のまちづくりの資源であると評価しています。市民の手づくりの「まちづくり市民集会」が、年々発展しながら継続していけるよう、市民・議会・行政のさらなるご参加とご支援を引き続きよろしくお願いいたします。

－ 条例制定 10 周年 まちづくり市民集会のまとめ －
創造しよう 夢のある焼津市 ～対話から始まるこれからの 10 年～

参加者:140 名

**「夢のある焼津市」
ってどんなまち？**

観光・にぎわい

- ・若者が戻ってくる活気あるまち
- ・人の集まるまち
- ・飲食店、イベントたくさん
- ・活気のある商店街
- ・社会資源の充実

健康・福祉

- ・ハンディキャップのある方に優しいまち(移動手段の充実等)
- ・介護と仕事を両立できるまち
- ・福祉が手厚いまち
- ・健康寿命日本一のまち
- ・高齢者に負担のない地域

地域のつながり

- ・隣、近所と触れ合えるまち
- ・人とのつながりが強いまち
- ・思いやりにあふれたまち
- ・豊かな地元交流のあるまち
- ・助け合える、共助できるまち
- ・対話の場が多いまち
- ・子どもと高齢者の居場所がたくさんあるまち

安全・安心

- ・災害に強いまち
- ・交通事故が少ないまち
- ・避難施設が充実したまち
- ・犯罪のないまち

子育て・教育

- ・多様な学びを選択できる
- ・子どもが喜ぶ施設が沢山
- ・歴史と文化を大切にすまち
- ・子どもが笑顔なまち
- ・子どもの声がいつもするまち
- ・学び合えるまち

**夢のある焼津市を実現するために
～自分にできること、みんなにできること～**

情報発信や環境整備に取り組む中で大事なことは…
人と人、地域のつながりを大切にするここと！

・人、地域をまず知ろう ⇒地域の行事に積極的に参加しよう！
・近所付き合いを大切にしよう ⇒あいさつをしよう！

参加者の声

- ・まちづくりを人任せにしたくないという思いが増した。
- ・地域の交流する場が少ないと思った。
- ・自分から声を上げていくことの大切さを学ぶことができた。
- ・夢を持つことは生きる意欲につながると思いました。
- ・活動をする中でヒントが得られました。
- ・人のつながりの大切さが焼津市のまちづくりにおいて役立つことを知りました。

**まちづくりを「自分事」と捉えて考えるきっかけとなるような
たくさんの有意義な『対話』が生まれました**

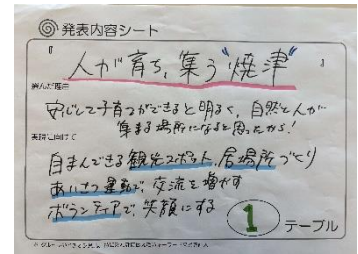
◎ 発表内容シート

『焼津市の未来を「創造」しよう “みんなでつくる夢のまち”』

1 テーブル

「人が育ち、集う“焼津”」

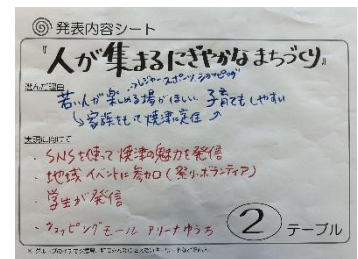
- 選んだ理由…安心して子育てができると、明るく自然と人が集まる場所になると思ったから。
- 実現に向けて
 - ・自慢できる観光スポット、居場所づくり
 - ・あいさつ運動で交流を増やす
 - ・ボランティアで笑顔にする



2 テーブル

「人が集まるにぎやかなまちづくり」

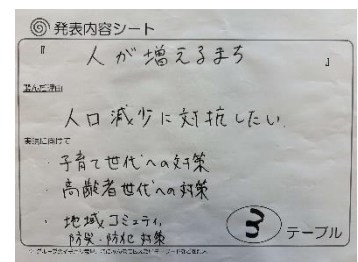
- 選んだ理由…若い人が楽しめる場（レジャー、スポーツ、ショッピング）がほしい
 - （そういった場があれば）家族を持って焼津に定住
 - 子育てもしやすい
- 実現に向けて
 - ・SNSを使って焼津の魅力を発信
 - ・地域イベントに参加（祭り、ボランティア）
 - ・学生が発信
 - ・ショッピングモール、アリーナ誘致



3 テーブル

「人が増えるまち」

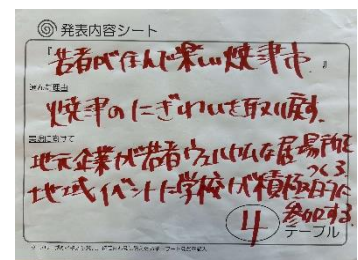
- 選んだ理由…人口減少に対抗したい。
- 実現に向けて
 - ・子育て世代への対策
 - ・高齢者世代への対策
 - ・地域コミュニティ、防災・防犯対策



4 テーブル

「若者が住んで楽しい焼津市」

- 選んだ理由…焼津のにぎわいを取り戻す。
- 実現に向けて
 - ・地元企業が若者ウェルカムな居場所をつくる
 - ・地域イベントに学校が積極的に参加する



5 テーブル

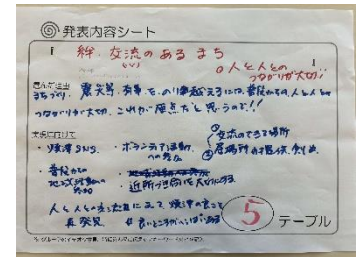
「絆・交流（心）のあるまち 人と人とのつながりが大切！」

- 選んだ理由…まちづくり、震災等、有事を乗り越えるには普段からの人と人とのつながりが大切。これが原点だと思うので！

●実現に向けて

- ・焼津 SNS
- ・ボランティア活動への参加
- ・普段からの地域活動の参加
- ・近所付き合いを大切にする
- ・人と人との交流によって、焼津の良さを再発見☆良いところがいっぱいある

- ① 交流のできる場所
- ② 居場所の提供



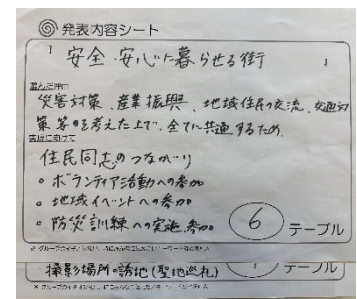
6 テーブル

「安全・安心に暮らせる街」

- 選んだ理由…災害対策、産業振興、地域住民の交流、交通対策等を考えた上で、すべてに共通するため。

●実現に向けて

- ・住民同士のつながり
- ・ボランティア活動への参加
- ・地域イベントへの参加
- ・防災訓練への実施・参加



7 テーブル

「みんなが住み続けたい街」

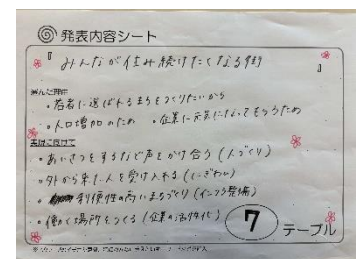
- 選んだ理由…若者に選ばれるまちをつくりたいから。

人口増加のため。

企業に元気になってもらうため。

●実現に向けて

- ・あいさつをするなど声をかけ合う（人づくり）
- ・外から来た人を受け入れる（にぎわい）
- ・利便性の高いまちづくり（インフラ整備）
- ・働く場所をつくる（企業の活性化）



8 テーブル

「みんなが安全に集まれる場所がほしい！」

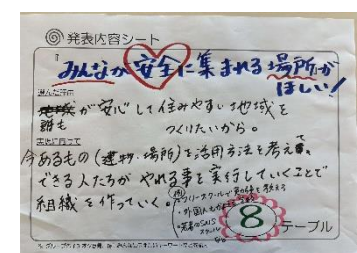
- 選んだ理由…誰もが安心して住みやすい地域をつくりたいから。

●実現に向けて

- ・今あるもの（建物、場所）を活用方法を考えてできる人たちがやれる事を実行していくことで組織を作っていく。

例：フリースクールで勉強を教える

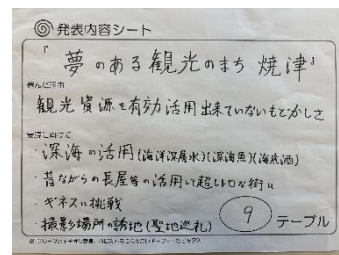
外国人も通える学校、若者の SNS スクールなど



9 テーブル

「夢のある観光のまち 焼津」

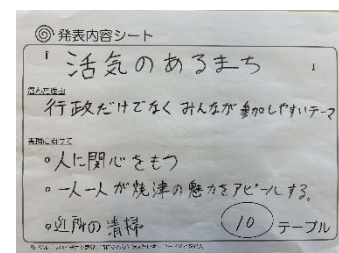
- 選んだ理由…観光資源を有効活用できていないもどかしさ
- 実現に向けて
 - ・深海の活用（海洋深層水、深海魚、海底酒）
 - ・昔ながらの長屋等を活用して超レトロなまちに
 - ・ギネスに挑戦 ・撮影場所の誘致（聖地巡礼）



10 テーブル

「活気のあるまち」

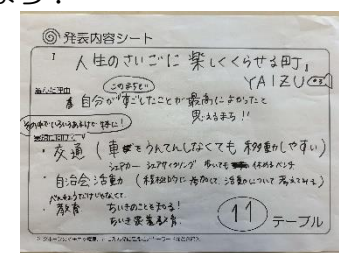
- 選んだ理由…行政だけでなくみんなが参加しやすいテーマ
- 実現に向けて
 - ・人に関心を持つ ・一人一人が焼津の魅力をアピールする ・近所の清掃



11 テーブル

「人生のさいごに楽しくらせる町 YAIZU」

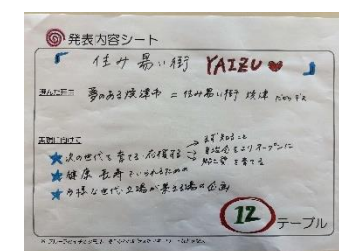
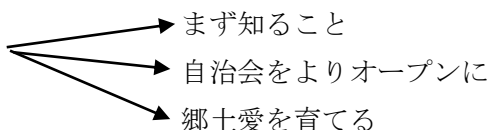
- 選んだ理由…自分がこのまちで過ごしたことが最高によかったと思えるまち！
- 実現に向けて
 - ・交通（車を運転しなくても移動しやすい）：シェアカー
シェアサイクリング、歩いて休めるベンチ
 - ・自治会活動（積極的に参加して活動について考えてみる）
 - ・教育（勉強だけじゃなくて、地域のことを知る！地域密着教育）



12 テーブル

「住みやすい街 YAIZU♡」

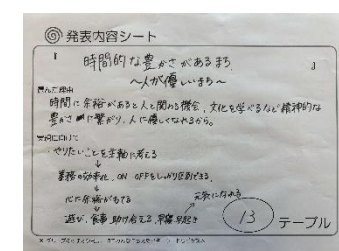
- 選んだ理由…夢のある焼津市＝住みやすい街 焼津 だからです。
- 実現に向けて
 - ・次の世代を育てる、応援する
 - ・健康長寿でいられるための
 - ・多様な世代、立場が集まる場の企画



13 テーブル

「時間的な豊かさがあるまち～人が優しいまち～」

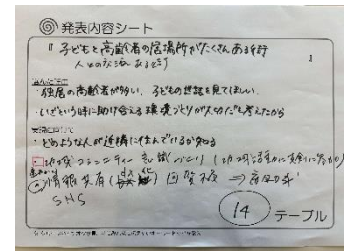
- 選んだ理由…時間に余裕があると人と関わる機会、文化を学べるなど精神的な豊かさにつながり、人に優しくなれるから。
- 実現に向けて
 - ・やりたいことを主軸に考える
 - 業務の効率化 ON/OFF をしっかり区別できる
 - 心に余裕が持てる
 - 遊び、食事、助け合える、早寝・早起き →元気になれる



14 テーブル

「子どもと高齢者の居場所がたくさんある街 人との交流がある街」

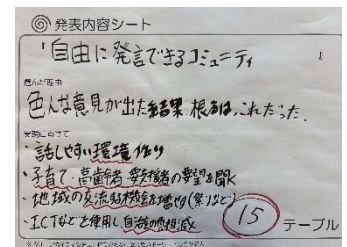
- 選んだ理由…独居の高齢者が多い、子どもの世話を見てほしい、いざという時に助け合える環境づくりが大切だと考えたから。
- 実現に向けて
 - ・どのような人が近隣に住んでいるか知る
 - ・地域コミュニティ意識づくり（地域活動に真剣に参加）
 - ・速やかな情報共有（SNS、DX化）回覧板



15 テーブル

「自由に発言できるコミュニティ」

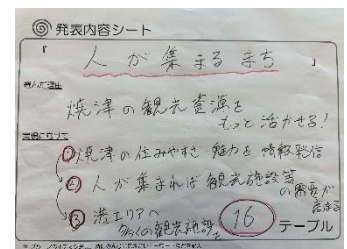
- 選んだ理由…いろんな意見が出た結果、根本はこれだった。
- 実現に向けて
 - ・話しやすい環境づくり
 - ・子育て、高齢者、要支援者の要望を聞く
 - ・地域の交流する機会を増やす（祭りなど）
 - ・ICT などを使用し、自治会の負担減



16 テーブル

「人が集まるまち」

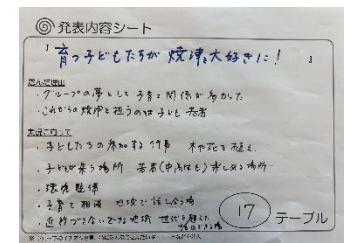
- 選んだ理由…焼津の観光資源をもっと活かせる！
- 実現に向けて
 - ・焼津の住み易さ、魅力を情報発信
 - 人が集まれば観光施設等の需要が高まる
 - 港エリアへ多くの観光施設を。



17 テーブル

「育つ子どもたちが焼津を大好きに！」

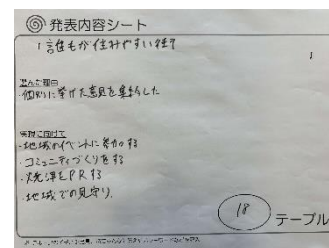
- 選んだ理由…グループの夢として子育て関係が多かった
これからの焼津の担うのは子ども、若者
- 実現に向けて
 - ・子どもたちの参加する行事 木や花を植える
 - ・子どもが集う場所 若者（中高生も）が楽しめる場所
 - ・環境整備
 - ・子育て相談 地域で話し合う場
 - ・近所つき合いできる地域世代を超えた話のできる場



18 テーブル

「誰もが住みやすい街」

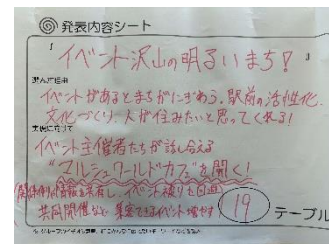
- 選んだ理由…個別に挙げた意見を集約した。
- 実現に向けて
 - ・地域のイベントに参加する
 - ・コミュニティづくりをする
 - ・焼津をPRする
 - ・地域での見守り



19 テーブル

「イベント沢山の明るいまち！」

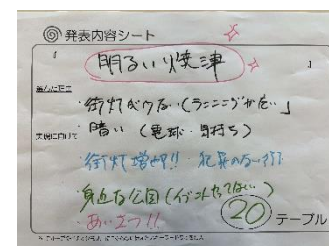
- 選んだ理由…イベントがあるとまちがにぎわう。駅前の活性化、文化づくり、人が住みたいと思ってくれる！
- 実現に向けて
 - ・イベント主催者たちが話し合える“マルシェワールドカフェ”を開く！
関係作りや情報を共有し、イベント被りを回避。
共同開催など、集客できるイベントを増やす



20 テーブル

「明るい焼津」

- 選んだ理由…街灯が少ない、暗い（電球、気持ち）
- 実現に向けて
 - ・街灯増やす！犯罪のない街
 - ・身近な公園（イベントやってほしい）
 - ・あいさつ！



21 テーブル

「市や県に関係なく行きたいと思える焼津市」

- 選んだ理由…街の活性化につながるから。
 - 実現に向けて
 - ・焼津のオリジナル名産品を作る：焼津の高校生や地元の人々が中心になって作っていく（水産の缶詰、焼高でパッケージデザイン）
 - ・人を呼ぶインフラ整備：水上バス、周遊モノレール、水族館
- ⇒働く場所ができる（若者が焼津に就職）、市民が買い物をしやすくなる（高齢者）

